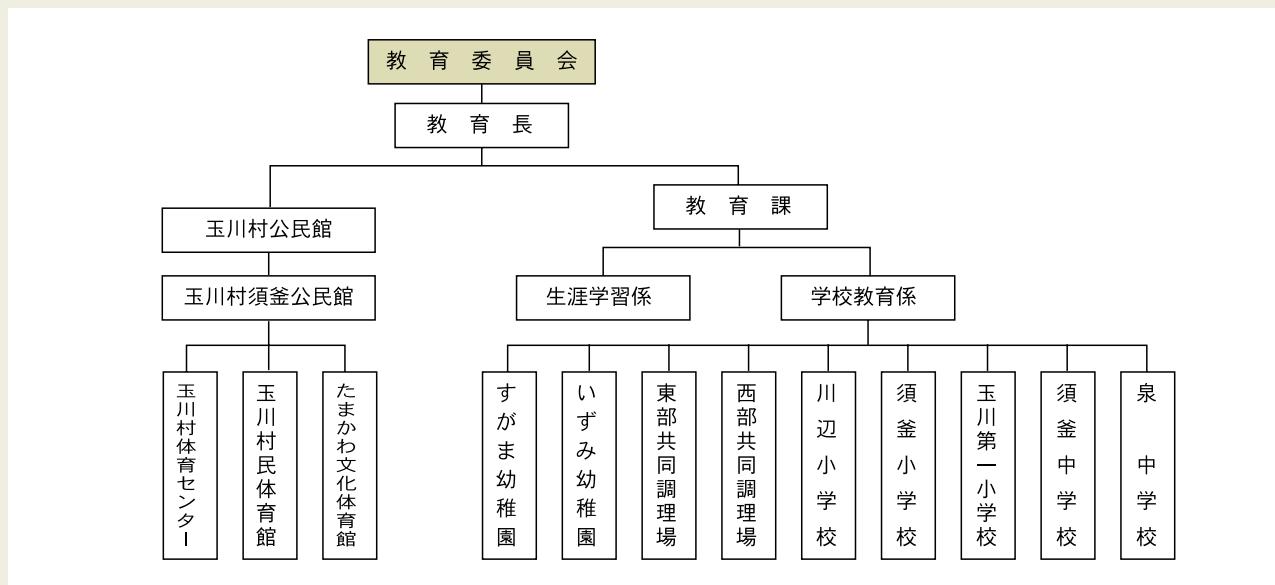


教育・文化



さわやか女性セミナー（陶芸教室）

未来を担う豊かな人づくり。



人づくりは、村づくりの根幹をなし、未来を担う子ども達の育成として、特色ある教育の振興に努めています。幼稚園は、いずみ幼稚園が二年保育、すがま幼稚園が三年保育と、複数年保育が実現しました。また、学校教育では、村独自の算数・数学の学校指導員を配置し確かな学力の定着を図っています。

子どもからお年寄りまでが生きがいを持って暮らせるような趣味や技能、村内の歴史探訪など社会教育や生涯学習までの教育環境の整備に力を注いでいます。

地域に保存されている伝統芸能や文化財などを後世に伝えるべく、支援事業も行っており、村民が潤いつながる村づくりに結びつくものと考えています。

人づくりは、村づくりの根幹をなし、未来を担う子ども達の育成として、特色ある教育の振興に努めています。幼稚園は、いずみ幼稚園が二年保育、すがま幼稚園が三年保育と、複数年保育が実現しました。また、学校教育では、村独自の算数・数学の学校指導員を配置し確かな学力の定着を図っています。

また、最新のコンピュータ導入などの環境整備や新学習指導要領の趣旨や国際社会への対応として、外国人講師による英語学習も進めています。

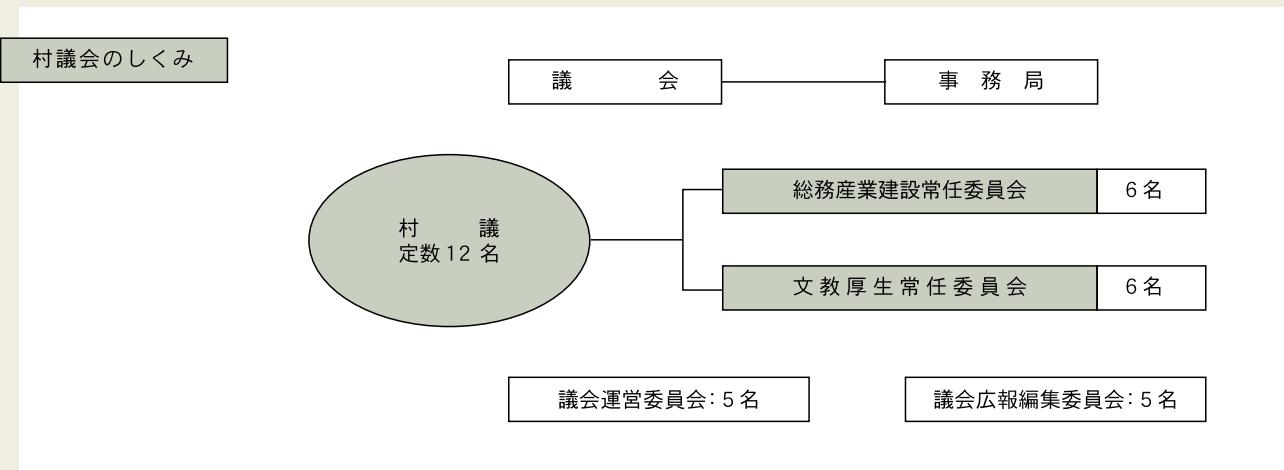
食に関する指導の充実にも取り組み、特に学校給食では、より一層の地場産品の活用を進めています。さらに、総合運動公園が整備され、村民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができ、スポーツ少年団の活動も活発です。



須釜小パソコン授業

議 会

心から心への橋渡しをめざして。



議会は、村民の代表として選出された12名の議員によって構成されています。議会は年4回の定期例会の他、臨時会を開き、条例の制定、改廃、予算の決定、決算の認定など村政運営上の重要な案件の議決や請願陳情についての審議を行っています。

さらに、専門的・効率的な審議のために、村議会には2つの常任委員会が設けられており、議員はいずれかに所属し、それぞれの分野でより専門的に調査研究をするとともに、議案、請願、陳情の審査などを行っています。

村民と行政を結ぶ心の架け橋が
玉川村議会です。



森副議長 須藤議長



行政

時代に対応する行政。

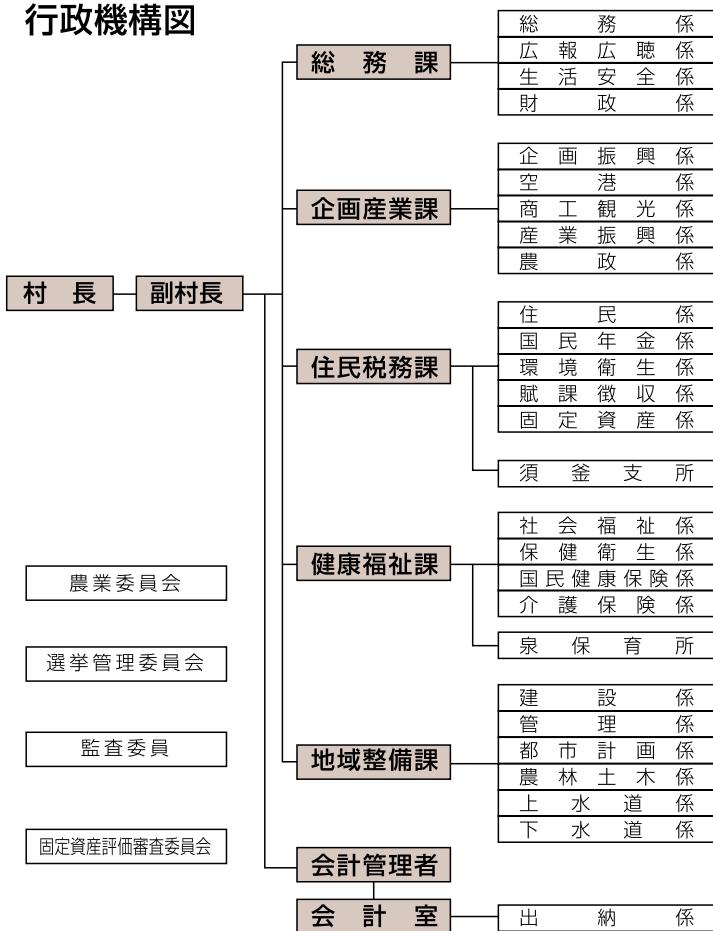


教育長 富岡ケイ子

副村長 草野亀雄

村長 石森春男

行政機構図



新しい時代に対応する行財政運営については、村民一人ひとりの立場に立った行政を心がけます。村民との対話により、多様化するニーズに対応できる柔軟な組織づくりに努め、スマートな連絡・調整と情報交換に取り組んでいます。

また、刻々と変化する今日の社会情勢。特に、少子高齢化や教育問題さらに環境問題など高度化・複雑化する住民ニーズに的確かつ迅速に対応するため、機構改革や事務改善などによる行政の見直しと、効果的な徹底した節減に努めながら、健全な財政基盤確立を進めています。職員についても、さまざまな研修受講等により幅広い視野に立ち、きめ細かな判断力を持つ、新しい時代に対応できる人材の育成に努めています。

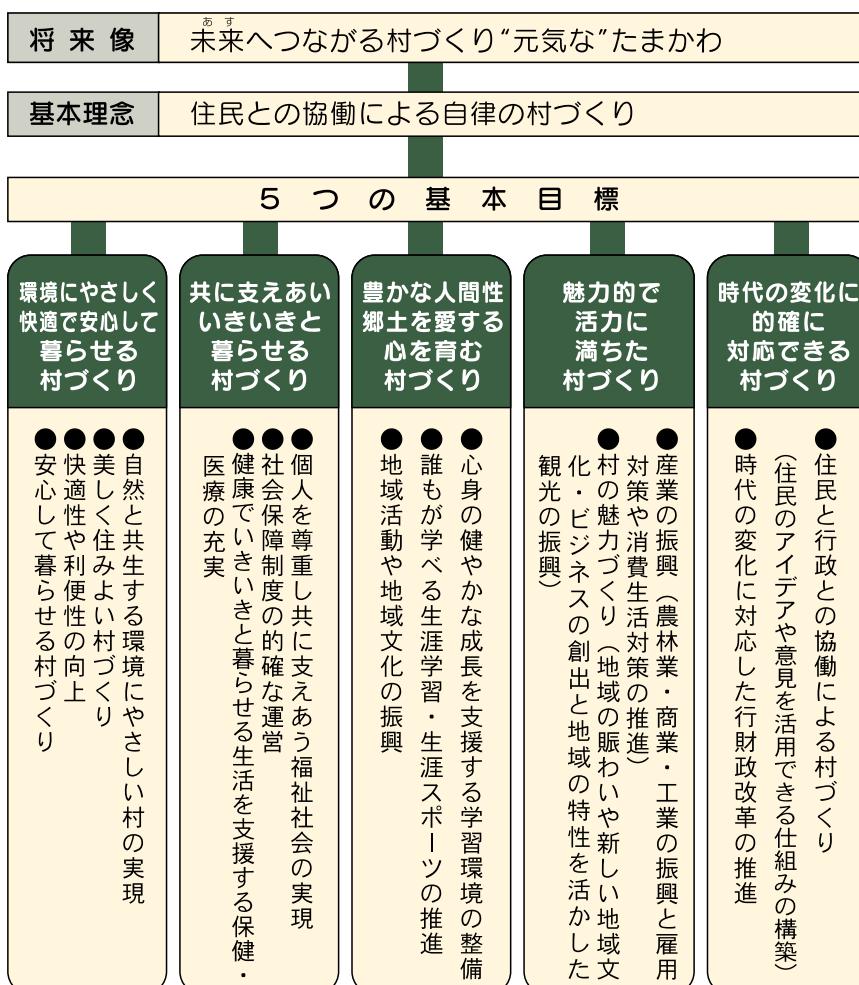
未来へつながる村づくり，“元気な”たまかわ

誰もがいきいきと生活し、充実感や幸福感を実感できる村づくりをめざします。

第5次玉川村振興計画ダイジェスト

21世紀を迎え、経済低迷による厳しい財政状況、少子高齢化の進行、環境との共生など社会・経済は変革の時期を迎えており、主役である村民の皆さんと行政との連携・協調のもと地域の人材・資源を活用し、村民が主体となり“地域のことは地域で決める”協働の村づくりを進めることが重要と考え、平成18年に、平成27年度を目標として「未来へつながる村づくり“元気な”たまかわ」を村の将来像とする第5次玉川村振興計画を策定。

5つの基本目標の実現に向けて、取り組んで行きます。



玉川村役場庁舎